

市民一丸となった新たな挑戦！

A New Challenge!!

スマート こまつ市民会議

市民が選ぶ協働事業について

市では、公共的な市民活動を募集し、審査を経て採択された活動を実施することで協働のまちづくりを進めています。審査は、市民主体のまちづくり組織「スマート小松市民会議」に属する「ふるさと共創推進審査チーム」のメンバーにより市民目線で行われました。

平成27年度は13件が採択され、順次実施されています。活動全体の報告会は平成28年4月に予定しています。

問い合わせ

市民協働課 ☎24・8217

第1ステージ 6件 採択団体(委託料上限5万円)

- NPO法人まちづくり小松(風揚げ大会を通じて伝統文化の継承)
- 子育てサークルエコピークラブ(アレルギー情報の共有や啓発活動)
- 小松遠州流(病院や福祉施設での花の展示や生け花体験)
- 小松おやこ劇場(子育てに役立つ情報交換会などの開催)
- ピンクリボン加賀(がん患者のための活動、乳がんセミナーの開催)
- 瑠璃の会(福祉施設などでの日舞・歌謡舞踊の披露・体験)

第2ステージ 7件 採択団体(委託料上限30万円)

◎うらら蓮代寺(蓮台寺城跡での加賀一向一揆の合戦再現)

合戦再現を契機に、郷土の歴史を多くの人に知ってもらえると嬉しいです。



宮本善比呂さん

◎NPO法人こまつNPOセンター(まちを歩きながら楽しい体験を探し、SNSで参加者同士の情報を共有・交流するイベントの開催)

まちの魅力の再発見と交流の輪を広げるイベントを増やしていきたいです。



中村潤哉さん



火矢が飛び交う中、竹やりを持った農民が城に攻め込む様子を再現



みんなで楽しめるソーシャルマラソン「シャルソン」

この先も様々な活動が予定されています

- ◎NPO法人いのちにやさしいまちづくりぼぼねっと(小松の暮らしの歴史を後世に残すための「こまつ聞き書き文庫」の開設)
- ◎グループ小まめ未婚の男女を対象としたスキルアップセミナー、体験型お見合いパーティを実施)
- ◎チーム「おまかせうんチッチ」排泄や排便の困りごとへの相談窓口の開設、講座の開催
- ◎千恵子桜を育てる会(千恵子桜の魅力を伝える活動や環境整備)
- ◎ぐりこの会(若者を主体とした、料理や畑作りなどの体験による世代・地域を越えた交流づくり)

小松市民病院はがん診療連携拠点病院です

がんを知り、がんに向き合い、がんに向けることのない社会へ。質の高い治療やケアの充実を図り、がんと共に生きる皆さんをサポートします。

患者さんに寄り添った信頼と安心のがん診療

日本における死因の第1位を占める悪性新生物「がん」。現在も年間30万人以上ががんで亡くなり、がんにかかる可能性は男性の2人に1人、女性の3人に1人と推測されています。

平成19年にがん対策基本法が施行され、がん医療のネットワークづくりが進められています。その中心となるのが「がん診療連携拠点病院」であり、

南加賀で唯一、国の指定を受けているのが小松市民病院です。

地域のがん診療を担うためには、十分な治療実績をはじめ、病理診断医の常勤、緩和ケアや相談体制の充実などの要件を満たす必要があります。小松市民病院にはこうした実績と体制が整っており、信頼と安心のがん診療対策が行われています。

問い合わせ

小松市民病院がん相談支援センター ☎22・7111



緩和ケアチームの皆さん

がんのお悩みは がん相談支援センターへ

「がん治療の副作用が心配」「医療費の負担が大きい」などで悩んでいる人は専門スタッフにご相談ください(予約制)。

相談時間 月～金曜日(祝日を除く)9時～17時

連絡先 小松市民病院がん相談支援センター

☎22・7111

毎日、かたろーさにいます。お気軽にいらしてください。



がん性疼痛看護認定看護師
北野真実さん



ピアサポート Kataro-sa

とき 月～金曜日(祝日を除く)9時～17時
ところ 小松市民病院2階

がん患者や家族が、同じ経験を持つ仲間やスタッフと不安や悩みを語り合い、気軽に交流できる空間です。

★ピアサポーターとの語らい(毎週月・木曜日10時30分～12時30分)

がんの経験を持つピアサポーターと気軽に語り合しましょう。

★くすり相談会(第2月曜日14時～15時)★食事・栄養相談会(第4月曜日14時～15時)

疑問があれば、薬剤師と栄養士にご相談を。

★就労支援相談(毎週木曜日13時～17時)

仕事の問題(雇用・社会保険・年金など)について、社会保険労務士が相談をお受けします(要予約)。